

院内移植コーディネータの役割

院内移植コーディネータ 田形 勝至 松村 葉子

今回、職員に対し臓器移植医療啓発活動を行う意味で、院内移植コーディネータの役割を報告します。当院は静岡県から臓器提供推進モデル病院に指定されています。

指定病院には、臓器・組織移植の普及啓発をする目的で、静岡県から任命された院内移植コーディネータが数名おり、主な役割は、ポテンシャルドナー発生からオプション提示、同意書作成、臓器摘出、お

見送りまでが、スムーズに行われるよう中立的な立場で医療側と患者側を結ぶ役割をしています。

当院の臓器移植医療の方針は、積極的に臓器提供をアピールすることはしませんが、患者さんや、そのご家族からお話をいただいた場合は、できるだけ意思が尊重されるよう積極的に協力したいと思っています。

NST活動実績とNSTアンケート結果報告

栄養管理検討委員会（NST）栄養課 菊地しおり

I. はじめに

当院NSTは平成16年9月に全病棟稼動した。カンファレンスは病棟ごとチームを作り行われており、17年度は延べカンファレンス1188件、18年度は9月までで789件のぼった。

NST活動の現状を把握し今後の活動の充実を図るため、職員対象にNSTアンケートを実施した。NSTの認識度、有用性、今後の課題等について報告する。

II. 対象・方法

医師・研修医・看護師・薬剤師・臨床検査技師・栄養士・リハビリテーション科部を対象に院内NST活動について、平成18年8月8日～10日調査用紙を配布し実施した。

III. 結果

配布576枚、回収率80%であった。

NSTの認識度を問う、院内NST活動を知っていますかとの質問では知っているが98%と高かった。

NST有用性を問うNSTカンファレンスは有意義だと思いますかの質問では、有意義であるが65%、有意義でないという否定的な回答は0.4%であっ

た。NST介入が栄養状態の改善に役立ったことはありますかとの質問では、「改善があったが45%であった。」個別の意見として、「患者さんの家族よりこの病院の栄養管理がしっかりしていて安心だと言われた。」「褥瘡の治癒が早くなった。」「NSTによって栄養状態が改善していくのがわかった患者さんがいた。」等の意見があった。

NSTスクリーニングについては、記入を担当する看護師20%と、受け取る側の栄養士63%も問題があると回答している。具体的意見には、寝たきり患者の体重測定ができない。検査項目のリンパ球実数での評価、喫食量や消化器症状の具体的項目の追加などの問題が浮かび上がった。

NST稼動後の変化、その他の意見、今後取り組んで欲しい事では、NSTが全病棟稼動し40%が変化があったとの回答であった。具体的意見では、栄養管理を通じて他科の患者の治療内容もチェックできるので相対的にリスクが低下していると思われる。との意見があった。今後取り組んで欲しい事、その他の意見では、NSTカンファレンスでの検討内容が主治医や病棟スタッフに伝わらないことや主治医の方針がNSTに伝わらないことがあるので上手く連携できるとよい。勉強会や研修会でNSTの有用性をアピールする機会があるとよい。NST通